



# 上川井だより

1月号

令和3年1月6日  
横浜市立上川井小学校  
校長 山崎 真紀子

## 上川井笑楽校をめあてに

澄み渡った空に小鳥のさえずりが響き、冷たい風を吸い込むと身が引き締まった思いがいたします。保護者の皆様、地域の皆様、謹んで新春のお慶びを申し上げます。日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。今年も変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

さて、12月に毎年選ばれる今年の漢字ですが、昨年は、「密」が選ばれました。コロナの影響下において多くの方が「密」を意識し行動したことや大切な人との関係が「密」接になり、人とのつながりの大切さを再認識する機会になったことなどから選ばれたようです。確かに、私自身、忙しい毎日を立ち止まり、当たり前のように感謝し、家族と過ごす時間の幸せを感じました。

では、新しい年はどんな生活になるでしょうか。どんな学校にしていきたいと子どもたちが思っているか、漢字に託して考えてもらいました。以下、多かった順にご紹介します。

「楽」・・・学校が楽しいからもっと楽しくしたい。楽しく仲良くみんなが笑顔になれる学校にしたい。もっと楽しい学校にしたい。今のようないじめのない楽しい学校がいい。

「心」・・・頑張る心、優しい心、勇気のある心をもっていたい。心をつなげていきたい。心で相手の気持ちを考えて行動したい。心の中にはいろいろな気持ちがあって、友達に伝えてもっと仲を深めていきたい。譲り合いや助け合いの心を大切に過ごしたい。自分の気持ちを伝えて支え合っていきたい。

「笑」・・・みんな笑顔で過ごしたい。いつも笑い合っていると楽しくなる。笑顔あふれる学校にしたい

「優」・・・みんなが優しいといい学校になる。みんながいつでも優しい気持ちでいる学校にしたい。

「元」・・・ウイルスに負けない強いからだにしたい。みんながずっと元気できるように。

地域の人や先生にも元気な挨拶をするといいい1日になると思えるから。

「仲」、「協」、「思」、「成」、「考」、「良」、「上」、「美」、「結」、「絆」、「大」、「活」など

そのほかにもたくさんの漢字がありました。どれも共通しているのは、人とのつながりを大切にし、楽しくいっしょに過ごしたいという願いでした。そして、今の学校生活が楽しい、仲が良いと感じている様子もうかがえます。制約がある中でも、友達と友情を育み、学校生活を楽しく過ごす子どもたちの姿にとっても明るい気持ちになりました。

現状に甘んじることなく、学習への知的な探究心やできたという達成感を積み重ねて、より充実した楽しい学校となるよう、今年も授業改善に取り組んでいきたいと思えます。

また、子どもたちの心がつながり、だれもが安心して過ごせるよう一人一人の思いに寄り添って指導していきたいと思えます。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。